

【設立10周年記念式典】開催のお知らせ

当工業会は平成10年2月に設立し、平成20年2月で10周年を迎えます。
設立10周年記念事業<準備委員会>を設置して、式典の開催に向けての企画を順次
検討しています。
現在、決定した事項についてご案内をさせて頂きます。

【I】開催日程 平成20年4月18日(金) 15:00~20:30

- ・第一部 『定期総会』
- ・第二部 『設立10周年特別記念講演会』
- ・第三部 『設立10周年記念式典(祝賀会)』

【II】開催場所 選定中

【III】記念講演講師 加藤廣志様(秋田県立能代工業高校 バスケットボール部 前監督)

演題『日本一勝ち続けた男の勝利哲学』

～リーダーは燃えるような熱い情熱を持て！～

内容：夢中になることの大切さ・組織作りは人作り・後継者育成の極意

【IV】記念誌の発行 10周年記念の会報誌(全30P)を発行し全会員へ配布。

※記念式典には、工業会全会員様のご参加をお待ち致します。

* * 編集後記 * *

春を告げる魚と書いて、メバルと読むんだそうです。

先月初旬、山口県の周防大島に釣りに行った時、漁師さんに教えてもらいました。朝6時に出船。島のすぐ際にある岩場での釣りでしたが、瀬戸内の海はまるで湖の様に穏やかで、島の土手には桜がたくさん咲いていました。「最近は桜が早いから、春告魚(めばる)とは…時期がずれてきたようう。」初老の漁師さんは、そう話してくれました。

先日のニュースによると、日本近海の海温は平均で1°C上昇しているとのことです。私は水泳をしていますが、1°Cも水温が変わるのは、水に入った瞬間、温泉みたいだなあ…と感じるほどの変化です。四季折々の季節感がある日本。カレンダーの写真も…段々と変わっていくんですかねえ？？

因みに、このVOL 19号は5月25日に発刊予定ですが、初夏の香りを感じつつも従来通り…<春>号と致しました。皆さん、ありがとうございました。



<大和 啓介>
三和金属(株)

ホームページ開設申込

ホームページアドレス <http://www.fukuoka-sma.gr.jp>

ホームページ・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい

シートメタル ふくおか 第19号
(福岡県シートメタル工業会会報)

発行日 平成19年5月25日
発行 〒816-0093 福岡県シートメタル工業会
事務局 福岡市博多区那珂6-25-15
(株)アマダ福岡SBU
TEL092-573-3655

今回の表紙



=北九州市若松区のグリーンパーク=
北九州市若松区の響灘緑地で、1991年に全国緑化フェア推進事業の一環としてグリーンルネッサンス'91'が開催された所で、現在グリーンパークという名称の緑地公園です。子供からお年寄りまで楽しめる、さまざまなイベントが執り行われています。

表紙担当 早川 和寿(有)早川プレテック

メタリストを応援するネットワーク情報誌

FUKUOKA

シートメタル ふくおか

第19号

2007

春号



-CONTENTS-

第10回 定期総会 2-3

工業会のお知らせ 4

企業探訪 5

マイブーム 6

鉄人俱楽部 7

設立10周年記念式典開催のお知らせ

・編集後記 8

第10回 『定期総会』開催 平成19年4月19日

第10回福岡県シートメタル工業会 定期総会が、4月19日(木)ホテルセントラーザ博多において32社48名の会員の出席により、盛大に行われました。

新しい体制 承認

この定期総会において、前会長退任に伴い、役員改選の議案について、会員の皆様にご承認頂きました。
・選任されました長澤現会長以下、新役員は以下の通りです。

会長 ナサ工業(株) 長澤 儀久

副会長 (株)田名部製作所 田名部 秀世

生産部会 部会長 日新産工(株) 林 高満

新会長挨拶



会長 長澤 儀久

このたび第十回定期総会にて、第3代目の福岡県シートメタル工業会会长に就任致しました長澤儀久でございます。

福岡県シートメタル工業会は1998年2月に発足し、会員企業の繁栄と業界の発展の為、広く親睦をはかり、教育、技術、経営等の業界に関する諸問題の研究に対し積極的に推進し、新たな時代を迎えるにふさわしい体制を整えてきました。

発足以来、中小企業1社では実現する事が不可能な厚生労働省の助成金支給団体への当工業会の認定や、板金技能検定試験の県内開催許可取得等の実績を挙げ、人材の高度化教育の為の教育訓練をおこない、数多くの板金技能士も誕生しました。

同時に工業会として会員同士や行政機関、個人や他の企業の方とも交流を深め、現在では会員企業も57社となり、その相互交流を通じ、得たものは情報や技術の巨大なデータベースとして活用され会員各社の財産に結びついていると思います。

福岡県シートメタル工業会は既存事業へも積極的に取り組み、会員企業と顧客の皆さんに相互利益をもたらす工業会へと発展を続けます。

皆さま、当工業会への一層の御協力をお願い致します。

平成19年4月吉日

福岡県シートメタル工業会 新役員構成

役 職	氏 名	会社名
顧 問	田名部 貢	株式会社 三松
会 長	長澤 儀久	ナサ工業 株式会社
副 会 長	田名部 秀世	株式会社 田名部製作所
副 会 長	稻富 靖彦	株式会社 稲富プレス工業所
会 計	藤 伸次	株式会社 三藤製作所
監 査	糸井 光一	株式会社 イトコー
総 務 部 会 長	入江 敏明	親和工業 株式会社
経 営 部 会 長	白水 武志	株式会社 新栄製作所
生 産 部 会 長	林 高満	日新産工 株式会社
企画推進委員会 委 員 長	安永 修	株式会社 ヤスナガ

平成19年度 工業会活動内容

定期総会においては、平成19年度の活動内容についての報告がなされ、特筆すべき事項は以下の通りです。

1. 5月18日～19日に大阪方面へ工場視察研修会を実施すること。
2. 今年度より福岡県シートメタル工業会主催による『板金図面検定』を6月23日に2級・3級の試験を実施すると共に、5月22日～25日に板金図面検定の事前準備講習を実施すること。
3. 企画推進委員会で、来年度の設立10周年記念の準備にあたること。

記念講演会

総会においては恒例の記念講演が開催され、山内経営労務研究所所長 山内輝光氏による『2007年問題と組織戦略』～改正高齢法への対応と企業間格差の拡大～の演題で行われました。

山内先生は高年齢者雇用アドバイザー、雇用管理アドバイザー、新規・成長分野企業等支援アドバイザーなどの多くの経験を生かし、これから高齢者の活用と継続雇用の積極的な運営方法などを豊富なデータと共に紹介され容易に自社にて取組める様、多くのチェックリストも紹介され、会員経営者の方には大変参考になったと思います。

懇親会では来賓の福岡県中小企業振興センターの井上事務局長、福岡県職業能力開発協会の中富事務局長、同 草埜検定課課長、そして(株)アマダ藤田取締役を迎えて講演会での話題や業界の話題で盛り上がり、和やかに時間が経過し無事閉宴する事が出来ました。



定期総会



講演会風景

記念講演会 講師プロフィール

【講師】

山内 経営労務研究所 所長

山内 輝光(やまうち てるみつ)

【演題】『2007年問題と組織戦略』
～改正高齢法への対応と企業間格差～

【略歴】

昭和22年3月28日生まれ

中央大学 経済学部中退

昭和45年8月 日立金属(株)退社

昭和51年1月 山内経営労務研究所開業

現在までに多数の企業を指導

工業会からのお知らせ

技能検定合格おめでとうございます。

当工業会会員企業より35名の方が受験され下記9名の方が、平成18年度技能検定に合格されました。検定前講習や、各受検者の努力の成果があつて難関を突破され、見事技能士の称号を手に入れられました。筆記試験は、合格率が昨年度は9%であった為、生産部会の提案により問題傾向に合わせた対策を立て、勉強してもらつた結果、35%に上りました。実技試験は、機械板金作業の内容が全面的に変更になり、工程的には簡単になりましたが、製品の精度出しが厳しくなりました。

工場板金 数値制御タレットパンチプレス板金作業

1級合格者



学科試験の出題範囲が広く、過去の出題を見たときは合格できる気がしました。しかし、工業会の対策講習に参加させて頂き、テキストを中心に学習することで合格に結びつけることができました。

(株)三松 豊福 高史

工場板金 機械板金作業

1級合格者



2度目の学科試験ということで大きなプレッシャーを感じていました。今は結果を聞いてホッとしています。学科は出題範囲がとても広いので、今回は万遍なくテキストを読み込んで勉強しました。

(株)田名部製作所 富崎 真二

工場板金 数値制御タレットパンチプレス板金作業

1級合格者



実技・学科とも初めてだったので緊張しました。学科の方がかなり大変でしたが、自分の知らない分野であっても興味をもってコツコツと勉強したことが良い結果に結びついたようです。

(株)田名部製作所 葉玉 和彦

工場板金 機械板金作業

2級合格者

(株)鐘川製作所	前田 努
(株)鐘川製作所	矢富 康之
(株)鐘川製作所	西田 英明
(株)三松	徳永 浩一
(株)三藤製作所	福井 淳治
(株)ヤスナガ	新開 倫洋

働く人達の技能を一定の基準によって検定し、その技能の程度を特級、1級、単一特級、2級及び3級に格付けして公証する国家検定制度です。(工場板金は、特級・1級・2級です)

特級、1級、単一特級の合格者には労働大臣名、2級及び3級については福岡県知事名の合格証書が交付され、それぞれ技能士という称号が与えられます。

【18年度第2回 経営者セミナー】

会員企業の経営者の方々を対象とした「経営者セミナー」として、今回は労務管理関連の法制や事例をもとに「労務管理におけるトラブル防止対策」についてお話をいただきました。

<実施日> 平成19年3月16日(金) 16:30~18:00
参加者: 16社24名

<会場> 雇用・能力開発機構福岡センター

<講師> 石井労務管理事務所 社会保険労務士 石井 志津子

<演題> 労務管理におけるトラブル防止対策

<内容>

今回の経営者セミナーは、採用から退職・解雇にいたるまでの様々な労務トラブルを未然に防止するための対策を講演していただきました。企業経営で一番やっかいな労務管理問題を具体的な事例や表などを用いて女性ならではのきめ細かい視点で、解りやすく説明していただきました。

特に入退社時の注意点については実務担当者にも是非聞かせたい有意義な内容のものでした。



記事担当・田名部 徹朗
(株)三松

企業探訪 第19回 有限会社 真和ステンレス工業

福岡県シートメタル工業会の会員各社を順番に訪問し紹介させて頂くシリーズ第19回目は、有限会社 真和ステンレス工業 代表取締役 野口 寿郎氏と営業 野口 武志氏にお話を伺いました。

Q:ご創業はいつ頃ですか?

A:創創業は 昭和53年3月になります。以前、ナスステンレスに3年ほど勤めていたことがあります。そのときに建築金物の製作・取付けの仕事をやっておりましたが、建築金物の分野は今後とも大きく伸びていくだろうと感じておりましたので、友人と一緒に独立し、現在の会社を創業いたしました。



会社玄関

Q:御社の業務内容や特色をお聞かせ下さい。

A:会社設立時から建築金物を主体にやって参りましたので、今でも建築関係が得意分野です。但し、創業当時と違って、最近は同業者との競争もだいぶん厳しくなって参りました。今年3月にレーザー加工機を導入しましたが、これで仕事の幅がぐっと広がりましたので、これをきっかけに息子と二人で顧客の拡大に取り組んでいこうと考えています。



新たに導入されたレーザー加工機

Q:将来の夢は何でしょうか?

A:今後とも建築がメインであることに変わりはありませんが、それに液晶・半導体の装置関係などを加えながら新規顧客の比率を少しずつ増やしていく、ゆくゆくは息子に事業を継いでもらうことです。(左:野口社長)

現在の工場が手狭になるぐらいに事業を伸ばしていきたいです。それからもう一つ、今後とも日々自己研鑽に励み、皆さんから立派な後継者になつたねと言っていただけるようになりたいですね。

(右:野口営業担当)



(有)真和ステンレス工業製作 外壁のパンチングパネル

<会社概要>

(所在地) 〒861-4101
熊本県熊本市近見8丁目11-57
(TEL) 096-358-5757
(FAX) 096-357-0281
(商号) 有限会社 真和ステンレス工業
(営業種目) ステンレス、アルミ、真鍮、銅などの制作金物、
ステンレスサッシ、設計製作、施工

<取材: 田名部 淳>
(株) 田名部製作所

次世代スケートボード誕生! 「フリーラインスケート」

ちょっと面白そうなものを発見しました。その名もフリーラインスケート。

皆さんご存知でしょうか?

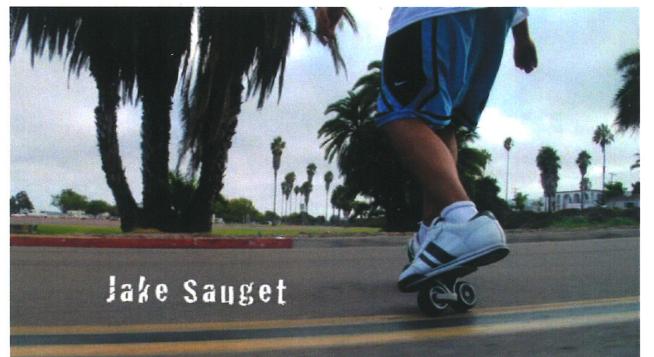
これは、アメリカで2005年に開発され、西海岸では、サーフィンやスケートボード愛好家の間に広まっており、昨年末頃に日本に初上陸した、新しいスポーツです。

フリーラインスケートは、手のひらほどの金属板の下に2個の車輪がついたもので、それが片足ずつあり、その車輪に対して足をほぼ直角に乗せ、横方向に滑走します。

スケートボード・スノーボード・インライningskate、そしてサーフィンの感覚を全てコンパクトに詰め込まっているため、フリーラインのスケーティングスタイルは、まさに「フリースタイル」です。自分好みのライディングスタイルで楽しむことができます。



フリーラインスケート ボード



スピードライディング風景

平地ではサーフィングスタイルやインライningskateのように滑り、またスケートボードのようなトリックを極めることもでき、ダウンヒルではスノーボードライディングでカービングを楽しみ、アップヒルは魚が川の上流へ登るように、足と体の重心を上手に利用してスイスイと登ることができます。サーフィンやスノーボードをしている人にはオフシーズンに、これから始めようとする人には、練習用として活用するのもいいかもしれませんね。

実際に乗ってみると、最初はもちろんうまくいかなかったのですが、一時間ぐらいの練習で少しは滑れるようになりました。インライningskateやスケートボードなどやったことない私も、新しい感覚を体験できるぐらい斬新な乗りものだと思います。しかも、コンパクトで、手軽に持ち運びができるのもよかったです。

昨年11月に日本で初めて紹介され、現在首都圏などに500人ほどの愛好者がいます。「エクストリーム・スポーツ(過激なスポーツ)」のひとつとして、この夏、注目を集めること間違いないでしょう。

詳しくは、<http://www.freelineskate.jp/>をご覧になってみてください。

<記事担当:林 高英>
日新産工(株)

鉄人倶楽部⑯ 走り続ける怪人百面相 ～摩訶不思議・イッセー尾形さんの一人芝居～



「MATSUZAKAって、サインしてあげようか?」サイン会で野球帽を差し出した少年に、彼は笑いながらそう言った。優しい目だ。でも、彼ならMATSUZAKAを演じる事が出来るかもしれない。いや違うなあ。MATSUZAKAに憧れて、今も野球をやめられない、下手くそな草野球親父かなあ?…

役者・イッセー尾形さん。55歳。一人芝居を始めて、もう20年以上は経つ筈である。私が学生の頃、彼は「渋谷ジャン・ジャン」という教会の地下にある狭い芝居小屋で一人芝居をしていた。友人に薦められて、たまたま観た芝居ではあったが、私はこれに完全にはまった。以来、数十回は彼の公演に通ったと思う。やがてNHKで紹介されて、一気にブレイクした。その彼が最近、北九州で年に1~2度の公演をする。私は公演の度に、息子や妻を連れて楽しんでいる。演出は、あの頃と全く変わらない。舞台の中央に3M四方程度の一段高いステージがあるだけ。派手な舞台装置もなく、袖に鏡台と洋服掛けが置いてある。変わったのは、家族と席につく私だけ。イッセーさんの体

型も声色も、当時と全く変わらない。彼は通常2時間位の間に、ショートで5~6役の人物を演じるが、一つの役が終わると一旦暗転し、鏡台前で次に演じる役の衣装替えとメイキャップを客の前で始める。数分後、それが終わると再び暗転、次のステージが始まる。その繰り返し。化粧が厚いおばさんセロ弾き奏者。今風の修学旅行生。痰が切れない定年前の部長。土木工事の田舎親父。売れないカントリー歌手。おたく系の人事部長、等々。次々に癖のある、個性的な人物が登場する。客席は即、笑いの渦に包まれるが、どこか共感して、しみじみと観たりする時もある。でも何が魅力か?ってそれは、客に媚びない演技である。彼の芝居には、役作りに対する自信なのか、客の反応を楽しむ様な?余裕すら感じる。

どちらにしても職人芸である。「人間観察は一切しません。自分の経験の中での記憶と想像だけ。それを再構成します。」数百に及ぶキャラを演じ続けた20年余。まさにこの親父=怪人百面相である。

最近では小松政男や桃井かおり等の個性派俳優とコンビを組んで、二人芝居にも挑んだ。

又、ロシアの鬼才監督の下で、これまでタブー視されてきた昭和天皇も演じた。「芝居の中に、私自身の痕跡を残さない様にしています。だから私が演じてきた人物を消去法で消していくと、最後に残るのが私なんです(笑)」と。

しかし、なんだか最後まで待っていても決して、その実像には迫れそうにはない摩訶不思議な役者さんである。



■プロフィール■

イッセー尾形

1952年福岡市生まれ。本名、尾形一成。'71年大学受験に失敗した後、新宿の演劇学校で演出家・森田雄三氏と出会い、共に演劇活動を開始。'81年日本テレビ「お笑いスター誕生」で金賞受賞。'82年から一人芝居シリーズ。'94年NYで初の海外公演。その後、ヨーロッパ公演も行い、海外でも高い評価を受ける。最近では、映画「太陽」で昭和天皇を演じて話題になった。

<取材・大和 啓介>
三和金属(株)